

第37回 札幌市中学生柔道体重別選手権大会開催要項

1. 目的 本大会は、札幌市に在住の中学生や札幌市の少年団で活動をしている中学生に広く柔道実践の機会を与え、技術向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な中学生生徒の育成と相互の親睦を図るものである。
2. 主催 札幌柔道連盟
3. 後援 札幌市中学校体育連盟
4. 期日 令和8年4月29日（水） 8:00 ～ 17:00
※参加者数によっては、中止の可能性もあります。
5. 会場 北海道立総合体育センター 柔道室・剣道室
札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1 TEL(011)820-1703
6. 参加資格 参加者は、札幌市内の中学校に在学する中学生または**令和8年度の地域クラブ活動の中体連登録を札幌地区へ申請予定のチームに所属する中学生**であること。かつ、2026（令和8）年度の全日本柔道連盟競技者登録をすること。
※なお、所属チームの中体連登録の申請につきましては、札幌市立八条中学校内の札幌市中体連事務局へと申し込むこととなっていますので、御注意ください。また、この件に関する問い合わせは札幌市中体連事務局にお願いします。
※ 札幌市中体連 HP <http://sapporo-jpa.com/>
7. 大会日程
 1. 会場設営 8:30 ～ 9:00 （常設部のある学校の生徒）
 2. 選手受付 9:00 ～ 9:30
 3. 計量・アップ 9:20～10:20
※ 保護者の入場開始は10:00～とする。
 4. 審判・監督会議/会場係打ち合わせ 10:00～
 5. 開会式 10:30～
 6. 女子個人戦 試合開始 10:45～
 7. 男子個人戦 試合開始 12:00～(予定)
 8. 閉会式 15:00～ (予定)
 9. 会場撤去作業 完全完了時刻 17:00 (撤去作業への御協力をお願いします。)

開会式次第	閉会式次第
<ol style="list-style-type: none">1. 開式宣言2. 大会長挨拶 札幌柔道連盟3. 競技上の注意4. 選手宣誓5. 閉式宣言	<ol style="list-style-type: none">1. 開式宣言2. 成績発表・表彰3. 閉式宣言

※ 内容は昨年度のもの、変更予定。

8. 引率者 全日本柔道指導者登録をしたチームの指導者・監督が引率すること。
選手が登録したチームの指導者・監督が引率を行うこと。

9. 競技方法 (1) 体重別個人戦とし、トーナメント戦方式で行う。
 ただし、参加者が8名に満たない階級については、リーグ戦方式とする。
 (2) 男女ともに、体重別8階級とし、以下の区分で行う。

男 子		女 子	
90kg 超級	(90kg 超)	70kg 超級	(70kg 超)
90kg 級	(81kg 超～90kg 以下)	70kg 級	(63kg 超～70kg 以下)
81kg 級	(73kg 超～81kg 以下)	63kg 級	(57kg 超～63kg 以下)
73kg 級	(66kg 超～73kg 以下)	57kg 級	(52kg 超～57kg 以下)
66kg 級	(60kg 超～66kg 以下)	52kg 級	(48kg 超～52kg 以下)
60kg 級	(55kg 超～60kg 以下)	48kg 級	(44kg 超～48kg 以下)
55kg 級	(50kg 超～55kg 以下)	44kg 級	(40kg 超～44kg 以下)
50kg 級	(50kg 以下)	40kg 級	(40kg 以下)

10. 競技規則 (1) 国際柔道連盟柔道試合審判規定の国内における「少年大会特別規定」による。
 (2025. 4月 改正版で行う。)
 ※ 2026年4月1日施行予定の「少年大会試合審判規程」の運用については、現在検討している段階。その検討により、(1)は変更になる可能性がある。
- (2) 試合時間はすべて正規の3分で行う。
 (3) 勝敗の判定基準は「一本勝ち」「技有」「有効」又は「指導差2」とする。
 なお、時間内に決着のつかない場合は時間無制限の延長戦（ゴールデンスコア方式）を行う。
 (4) リーグ戦の順位は、以下の方法で決定する。
 ① 勝ち数による。
 ② ①において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 ※ 勝ちの内容 「一本」>「技有」>「有効」>「僅差」>「GS勝ち（内容問わない）」
 ③ ②において同等の場合は、負けの内容により決定する。
 ④ ③において同等の場合は、GS方式の再試合を行う。
 (5) ゼッケンについては、氏名とチーム名を、次の要領にて必ず用意すること。
 つけていない場合は失格とする。必ず登録チームのゼッケンで参加すること。
 (6) 柔道衣コントロール（検査）については会場で測定器を用いて自分で行うこと。
 (7) その他、本大会の申し合わせ事項により、競技を行う。

<p>《ゼッケンについて》</p> <p>(1) 布地は白色（晒・太綾）</p> <p>(2) サイズは横 30 ± 3cm 縦 22 ± 3cm</p> <p>(3) 名字（姓）は、上側 3分の2 学校名・所属名は下側 3分の1</p> <p>(4) 書体は太ゴシック体 男子は黒色、女子は赤色</p> <p>(5) 縫いつけ位置は、柔道衣後襟から 10cm 下部</p> <p>(6) 四辺および対角線を強い糸で縫いつけをする</p>	
---	--

11. 表彰 各階級、優勝・準優勝・第3位（2名）に賞状とメダルを授与する。

12. 参加料 1人1,000円（傷害保険加入料を含む）を大会当日納入すること。

13. 申込方法 (1) 出場チームは下記アドレスに**4月12日(日)**まで必着すること。
(2026年4月12日現在の所属チーム名、学校名、学年を記入願います。)
(2) 申込先

札幌市中体連柔道専門委員 佐藤 寛太
メールアドレス：**00313979@giga.sapporo-c.ed.jp**
※ アドレスが変更になっていますので、ご注意ください。
TEL：011-864-0984 (平日9時～15時のみ、3月中)

(3) 申し込みに関して、学校の部活動で出場するのか、クラブ・道場・柔道教室から出場するのかについて、必ず生徒に確認し、申し込み漏れのないように注意してください。

(4) 注意事項

- ・**データのみ提出で構いません。担当者より折り返しの返信がない場合はご連絡ください。**
- ・データの提出が難しい場合は、上記連絡先まで御連絡ください。
- ・申し込み締め切り後の選手の変更および階級の変更は認めません。
- ・4月以降の問い合わせについては基本メールでお願いします。問い合わせ先に変更があればメールでお知らせします。

14. 脳震盪対応 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記の事項を遵守すること。

- ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
- ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- エ 当該選手の指導者は、大会事務局（札幌柔道連盟）及び（公財）全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

15. 皮膚真菌症（トングランス感染症）について

皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症が発覚した場合は、大会への出場ができない場合がある。

16. 保護者の観戦について

本大会は、保護者の入場を認める。ただし、以下の点を必ず守ること。

- ①風邪症状が見られたり、体調不良の場合は、入場・観戦しないこと。
- ②会場使用のルール、マナーについて守れること。特にごみの持ち帰りを徹底すること。
- ③観戦時のマナーを守ること。なお、会場の使用は選手を優先することとし、試合進行の妨げになるようなことはしないこと。
- ④自家用車での来場は認めない。公共交通機関を使用して、来場すること。
- ⑤**決められたスペースから観覧すること。会場内かなり狭くなっているため、譲り合って観覧すること。**
- ⑥**会場が狭いため、レジャーシート等を敷いての場所取りはご遠慮願います。**

17. その他 (1) 引率者は感染症対策を参加者に周知・徹底させて下さい。

(2) 各チームの指導者から審判をお願いしたいと思います。審判員の方には昼食をご用意させていただきます。また、駐車券はありません。公共交通機関を利用していただくか、近隣の有料駐車場をご使用ください。なお、監督・コーチ及び審判員の方は服装にご留意ください。（審判員は全柔連指定の服装・ネクタイ）

(3) 正式に段位書が発行されている有段者は黒帯を用いること。

(4) ゴミは各自で必ずお持ち帰りください。施設利用マナー向上にご協力願います。

(5) 参加資格について、学年による制限は設けないが、**特に新1年生は技能面をよく考慮し、試合に耐えうるかどうかを判断して申し込みをすること。**

(6) 主催者は、大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。万一の事故に備え、各チーム独自で万全の事故対策を立てておくこと。

(7) 要項の内容については、様々な情勢の影響により、変更となる場合がございます。ご了承ください。